

4人に1人は銭湯・スパを“月1回以上”利用 ～サウナブームのけん引役は…！？～

国内1,400社超が利用する日用品流通の情報基盤を運営する株式会社プラネット(所在地:東京都港区、代表取締役社長:田上正勝)は消費財や暮らしにまつわるトピックスをお届けする『Fromプラネット』の第157号として、銭湯・スパに関する意識調査の結果をご紹介します。未掲載のデータもご提供できますのでお気軽にお問い合わせください。

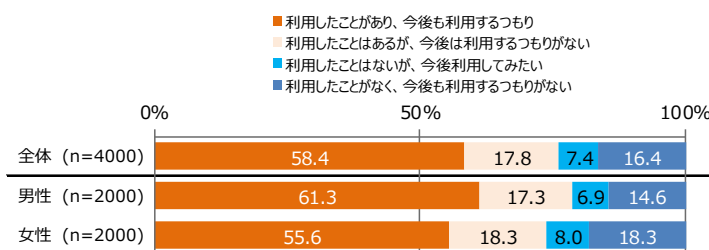
■ 4分の3が入浴施設“利用経験あり”、“自宅周辺”の施設利用が主流

新型コロナウイルスの流行で旅行や遠出のレジャーがままならない現在、近場の銭湯やスパ(以下、入浴施設)でリフレッシュ、という人もいないのではないでしょうか。休憩所や食事処、さらにはコワーキングスペース併設まで、各施設がしのぎを削って設備・サービスを充実させています。そこで今回は、入浴施設の利用について探ってみました。

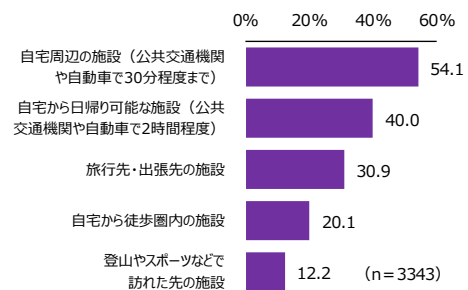
まず入浴施設を利用したことがあるかを聞いたところ(図表1)76.2%が「利用したことがある」とし、このうち58.4%は「今後も利用するつもり」となりました。一方、「利用したことがない」は23.8%ですが、このうち7%強の人は「今後利用してみたい」と回答。以上から、3分の2の人が「今後も利用したい・してみたい」と考えていることがわかりました。性別では、「利用経験あり」が男性78.6%・女性73.9%、「今後も利用したい・してみたい」同68.2%・63.6%と、ともに男性のほうが高い結果となりました。(「利用する/利用したくない理由」の結果は、図表8に掲載)

利用する・してみたい施設の立地を聞いたところ(図表2)、過半数が「自宅周辺(30分程度)の施設」と回答。「徒歩圏内の施設」も2割であることを考え合わせると、「自宅近くで非日常を味わえる」のが入浴施設、と言えそうです。「プチ旅行気分」で「自宅から日帰り可能な施設」に行く人が4割、「旅行先・出張先」で施設を利用する人も3割にのぼりました。

図表1 「入浴施設を利用したことがありますか」
についての回答



図表2 「どんな立地の入浴施設を利用しますか
(利用したいですか)」についての回答(複数回答)



■ 4人に1人は“月1回以上”利用、入浴施設好きは若年男性と高齢女性

次に、入浴施設の利用頻度を聞いてみました(図表3)。「月1回以上」が23.2%と最多、以下「半年に1回」22.0%、「2~3カ月に1回」19.7%、「年1回未満」19.4%と、比較的まんべんなく分散している印象です。性別の最頻値をみると、男性が「月1回以上」に対し、女性は「年1回未満」と差が。さらに細かく年代別でみると、男性は30代以下で「月1回以上」が全体より突出して多く、特に30代では「週1回以上」と入浴施設通いが“習慣化”している人が12.9%に上ります。一方で女性では、20・40・50代では「年1回未満」が最多になっており、“特別感”をもって入浴施設に行く傾向があるようです。ですが60代以上は少し様相が異なり、「月1回以上」が2割超に。特に70代以上では「週1回以上」が12%となります。以上から、“入浴施設好き”な年代は若年男性と高齢女性、と言えそうです。

図表3 「どれくらいの頻度で入浴施設を利用しますか」
についての回答(性年代別)

性別	性年代	n=	(%)							
			週1回以上	月2~3回	月1回	月1回以上	2~3カ月に1回	半年に1回	年に1回	年1回未満
全体		2336	6.2	6.9	10.1	23.2	19.7	22.0	15.6	19.4
男性		1225	7.6	8.2	12.7	28.4	20.2	22.9	13.1	15.3
女性		1111	4.7	5.5	7.4	17.6	19.2	21.1	18.3	23.9
男性	20代	78	6.4	10.3	15.4	32.1	15.4	25.6	11.5	15.4
男性	30代	62	12.9	8.1	19.4	40.3	17.7	25.8	11.3	4.8
男性	40代	210	6.7	9.0	10.5	26.2	17.6	24.3	18.1	13.8
男性	50代	375	6.9	8.0	13.1	28.0	19.5	20.5	13.9	18.1
男性	60代	296	6.8	7.4	13.9	28.0	21.3	22.6	11.8	16.2
男性	70代以上	204	9.8	7.8	9.3	27.0	25.0	24.5	9.8	13.7
女性	20代	85	3.5	9.4	4.7	17.6	14.1	25.9	12.9	29.4
女性	30代	169	4.7	4.7	6.5	16.0	16.6	20.1	26.0	21.3
女性	40代	305	3.0	4.3	8.2	15.4	20.3	21.6	18.0	24.6
女性	50代	305	3.9	4.3	6.9	15.1	17.4	19.7	18.4	29.5
女性	60代	172	6.4	7.0	8.7	22.1	22.7	20.9	14.5	19.8
女性	70代以上	75	12.0	9.3	8.0	29.3	25.3	21.3	16.0	8.0

全体より、■ +10%ポイント以上 ■ +5%ポイント以上 □ -5%ポイント以上 □ -10%ポイント以上

■ 若年男性は“1人で”、女性は“家族や友人と”利用

次に入浴施設に誰と行くことが多いかを聞いたところ(図表4)、「家族と」が55.9%と最多に。以下「1人で」26.2%、「友人と」14.0%が続きました。性年代別にみると、男性は「1人」派が全体に比べて多く、特に30代以下の若年層では1位に。20代男性では「友人と」も30.4%と全年代のなかで最も高いことから、“基本は1人だが、時には気の合う友達と連れ立って…”ということなのでしょう。女性は「1人で」が男性より19ポイント低い一方で「家族で」は同17.4ポイント高くなっています。子育て世代以上で全体より高い傾向がみられることから、女性は子どもや孫を含めた家族で主に利用しているようです。また70代以上女性では「友人と」が女性の他の年代より高値になっており、図表3の結果と考え合わせると、同年代の女性の間で“銭湯・スパコミュニティ”ができていられるのかもしれませんが。

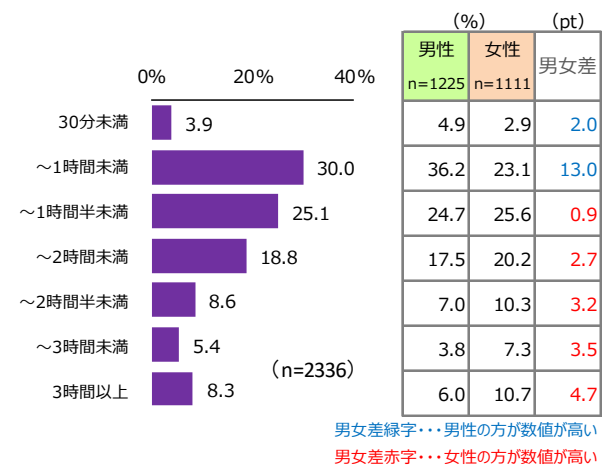
“入浴施設に行ったからには、いろんなお風呂に入りたい”と思うのが人情というもの。そうすると、自然と滞在時間は長くなりそうです。そこで、1回あたりの平均滞在時間をたずねた結果が図表5です。最多となったのは30%の「30分以上1時間未満」で、以下「1時間以上1時間半未満」「1時間半以上2時間未満」と続き、これらで全体の約4分の3を占めました。性別の最頻値をみると、男性「30分以上1時間未満」、女性は「1時間以上1時間半未満」に。2時間以上の比率をみると男性16.8%に対し女性28.3%と、女性のほうが長い間滞在する傾向が見て取れます。男性は若年層を中心に「1人で行ってお風呂に入ってサッと帰る」、一方で女性は「家族や友人と行って、入浴後もゆっくり過ごす」人が多いと推察できます。

図表4 「誰と入浴施設に行くことが最も多いですか(最も誰と一緒に行きたいと思いますか)」についての回答

		(%)					
		n=	1人で	友人と	家族と	恋人と	その他
全体		3343	26.2	14.0	55.9	2.8	1.0
性別	男性	1708	35.7	13.3	47.4	2.5	1.1
	女性	1635	16.4	14.7	64.8	3.2	1.0
性年代	男性・20代	115	39.1	30.4	25.2	4.3	0.9
	男性・30代	89	38.2	20.2	36.0	5.6	0.0
	男性・40代	277	37.9	8.7	47.3	3.6	2.5
	男性・50代	511	37.0	13.3	44.6	3.7	1.4
	男性・60代	434	37.3	10.8	50.7	0.5	0.7
	男性・70代以上	282	26.2	12.8	59.9	0.7	0.4
	女性・20代	133	17.3	18.8	53.4	9.0	1.5
	女性・30代	237	19.8	15.2	62.4	2.5	0.0
	女性・40代	437	15.8	11.9	67.5	4.3	0.5
	女性・50代	449	15.4	11.8	68.8	2.7	1.3
	女性・60代	262	13.7	17.9	66.4	1.1	0.8
	女性・70代以上	117	20.5	23.1	53.0	0.0	3.4

全体より、■ +10%ポイント以上 ■ +5%ポイント以上
 ■ -5%ポイント以上 ■ -10%ポイント以上

図表5 「1回あたり平均でどれくらいの時間、入浴施設に滞在しますか」についての回答



■ 女性はお風呂グッズにもこだわり！

入浴施設に行く際には、タオルに石鹸、シャンプーとお気に入りの品を持参する、あるいは手ぶらで出かけて備え付けのものやレンタルで済ます、などスタイルはさまざまでしょう。そこで、必要なグッズをどのように調達しているかを聞いてみました(図表6)。お風呂に付き物の“タオル”は「持参する」が73%と、主流のようです。その一方で、“石鹸/ボディソープ”と“シャンプー・コンディショナー/リンス/トリートメント”を「持参する」のはそれぞれ3割程度で、「施設備え付けのものを使う」とともに6割前後と多数派になりました。

性別でみると、“タオル”は男女差がありませんが、“石鹸”と“シャンプー類”では少し様相が異なります。両項目で

「持参する」は各13.6ポイント・21.0ポイント女性が上回ります。さらに女性の「持参する」と「備え付けのものを使う」の差は“石鹸”18ポイント、“シャンプー類”3ポイントと、「備え付けのものを使う」が多いとはいえ全体・男性に比べ差は縮小。お風呂グッズへの“こだわり”が感じられます。

図表6 「入浴施設を利用する際、以下のグッズはどのように調達しますか」についての回答

	タオル				石鹸/ボディソープ				シャンプ-、コンディショナー/リンス/トリートメント			
	全体	男性	女性	男女差	全体	男性	女性	男女差	全体	男性	女性	男女差
持参する	73.0	72.2	73.9	1.7	29.8	23.3	36.9	13.6	33.1	23.1	44.1	21.0
施設でレンタルする	10.4	10.4	10.4	0.1	7.1	7.4	6.8	0.7	6.5	6.9	6.0	0.9
施設で購入する	2.3	3.0	1.5	1.5	1.5	2.4	0.6	1.7	1.6	2.4	0.7	1.6
施設備え付けのものを使う	13.8	14.0	13.5	0.5	60.5	65.5	55.0	10.5	56.4	64.9	47.1	17.8
この用品は使わない	0.5	0.4	0.6	0.2	1.1	1.4	0.7	0.7	2.4	2.7	2.1	0.6

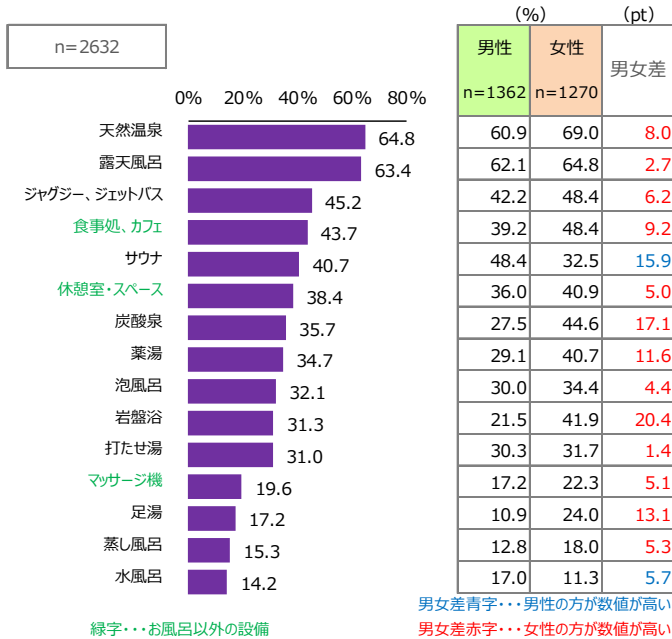
n数：全体=2336、男性=1225、女性=1111

男女差：青字・・・男性の方が数値が高い、赤字・・・女性の方が数値が高い

■ 6割以上が“天然温泉”と“露天風呂”を利用、“サウナ”は働き盛りの男性に人気

入浴施設では、いろいろな種類のお風呂に入れるほか、入浴後に休憩所で一服したりマッサージを受けたり、はたまた備え付けの雑誌やマンガを読みふけったり…さまざまな楽しみ方ができるのも魅力といえるでしょう。そこで、入浴施設に行った際、どんな設備を利用しているかを聞いてみました(図表7)。その結果、「天然温泉」「露天風呂」の“王道”がともに6割超と他を引き離してワンツーフィニッシュ。以下、「ジャグジー、ジェットバス」「食事処、カフェ」「サウナ」と続き、全体的に利用の主目的であるお風呂関連で利用率が高い結果となりました。お風呂以外では「休憩室・スペース」より「食事処、カフェ」が上位にあるのは少し意外な気がします。

図表7 「入浴施設で利用する(利用したい)施設・サービスは何ですか」についての回答(複数回答)



性別で見ると、全般的に女性のほうが利用率が高いなか、目を引くのが最近ブームの「サウナ」。男性で48.4%と3位ですが、女性では32.5%と男女間で約16ポイントの差がつかしました。同じく発汗効果が高い「岩盤浴」は女性のほうが20ポイント超上回っており、「男性はサウナ、女性は岩盤浴で汗を流す」という図式がみえてきます。

両項目を性年代別で詳しくみると、サウナは男性の

【岩盤浴、サウナの利用状況(性年代別)】

	n=	岩盤浴 (%)	サウナ (%)
全体	2632	31.3	40.7
男性・20代	91	16.5	30.8
男性・30代	71	23.9	49.3
男性・40代	234	19.7	54.7
男性・50代	418	21.8	51.7
男性・60代	331	26.0	45.3
男性・70代以上	217	17.5	47.0
女性・20代	105	43.8	30.5
女性・30代	193	41.5	30.1
女性・40代	346	44.2	33.2
女性・50代	338	44.4	32.8
女性・60代	205	37.1	33.7
女性・70代以上	83	32.5	33.7

全体より、■ +10%ポイント以上 ■ +5%ポイント以上
■ -5%ポイント以上 ■ -10%ポイント以上

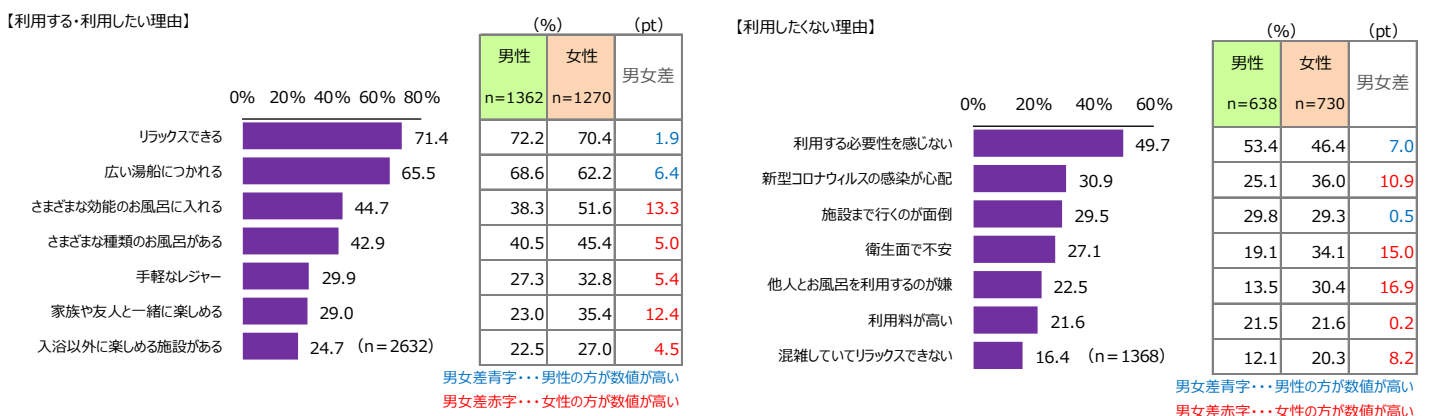
30~50代と70代以上で高値を示しており、この年代がブームをけん引しているようです。一方で岩盤浴は、70代以上を除く女性の全年代で全体値を大きく上回っており、幅広い年代で人気を集めていることがわかります。

■ “リラックス” “広い湯船”を求めて銭湯・スパへ

このように入浴施設では多種多様な楽しみ方をしているようですが、その根幹にある入浴施設を利用する理由についても聞いてみました(図表8)。その結果、トップは74.1%の「リラックスできる」で、これに「広い湯船につかれる」65.5%が続きました。性別で見ると、女性のほうが“お風呂の種類の数”や“家族や友人と一緒に楽しめる”といったレジャー性を理由に挙げる人が男性よりも多い傾向がみられます。

反対に、利用経験にかかわらず「入浴施設を利用するつもりがない」人も3分の1います(図表1参照)。これらの人にその理由を聞いたところ、「利用する必要性を感じない」が49.7%と最多に。2位はご時世を反映し「新型コロナウイルスの感染が心配」、以下「施設まで行くのが面倒」が続きました。女性では新型コロナや衛生面への不安、他人と入浴することへの抵抗感を挙げる人が男性より高いのが目を引きます。

図表8 「入浴施設を利用する/利用したくない理由は何ですか」についての回答(複数回答)



■ コロナ下のリフレッシュに強い味方

最後に、入浴施設の利用の仕方やエピソードなどを教えてもらいました。銭湯やスパへの“熱い思い”や銭湯での思い出話、はたまたスーパー銭湯でのルーティーンまで、さまざまな回答が寄せられました。コロナ下で営業時間の制限はありながらも、営業している銭湯やスパは疲れた時の強い味方。行ったことある人もない人も、これを機に一度訪れて心身ともにリフレッシュしてみたいはいかがでしょうか。

《 入浴施設の利用や、あったらいいなと思うサービスなど 》

【こんな風に利用しています】

- 毎週末に日帰り温泉に行って、垢すりマッサージを受けることが習慣化されている。それを行わないと1週間の疲れが取れない感じがする（男性・50代）
- 日帰り入浴施設が地元がたくさんあり、たまに行きます。近所の方は自宅のお風呂に入らず年間パスで毎日のように温泉に行っているようで羨ましいです。湯船につかって周りの人の話を聞くのが面白いですよ（女性・50代）
- ゆっくり入浴した後、休憩所で飲み物を飲みながらマンガを読むのが楽しみです。つい時間を忘れてしまいます（男性・40代）
- 旅先や登山、スポーツの後に利用できると最高にリラックスできて楽しい。日本の入浴習慣に幸せを感じる（男性・60代）
- 休日の息抜きで家族で出かける。行く先がマンネリ化すると違うところを探すが、思いもよらずいい施設に巡りあうことがある（男性・40代）

【1人派？ 家族・友人などと一緒？】

- 家族旅行も現在は特に行けない状況(プライベートや感染対策等含む)ですが、唯一1人で寛げる聖地です。家で味わえない風呂の種類があり、組合せによっては様々なバリエーションで寛げます。文章を打っていて滅茶苦茶行きたくなりました（男性・40代）
- 気分的に元気がない時や旅行に行けない時に、1人で露天風呂のある銭湯でのんびりすると、気分がさわやか、元気で幸せになれる。お安くてお気軽な楽しみ（女性・70代以上）
- 友達と熱い湯に浸かりゆっくりのびのびするのが楽しい。そのあとのコーヒー牛乳は定番で好き（男性・30代）
- 子供が産まれる前は年始に実家に帰った際、1年に1回しか会えないイトコと一緒に温泉施設へ行き、湯船に浸かりながら近況報告を含めた話ができた！（女性・30代）

【こんな設備・サービスが欲しい！】

- マッサージを受けたいけれど、現金払いのみしか受け付けないケースが多く使い勝手が良くないので、電子決済導入を促進して欲しい（男性・50代）
- 家族と愛犬を連れて温泉へ行く機会が多いので、犬と一緒に休める公園や休憩場所。あと足湯で靴下を脱ぐのが面倒な人のために手湯があるといいなと思う（女性・40代）
- 小さい子供を入浴中だけ預かってくれるプランがあったら利用したい（女性・30代）

調査機関：株式会社プラネットによる調査企画のもとに、株式会社ネオマーケティングにて「銭湯・スパ」に関する意識調査を実施。
期間：2021年4月13日～16日、インターネットで4,000人から回答を得ています。

株式会社プラネットとは <https://www.planet-van.co.jp/>

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラ運営で支えている上場企業(証券コード2391)です。

From プラネットとは https://www.planet-van.co.jp/news/from_planet.html (バックナンバーもご覧になれます)

株式会社プラネットが発信しているニュースレターです。消費財や暮らしに関する旬なトピックスなどをご紹介します。

本件に関するお問い合わせ先

(感想や取り上げてほしいテーマなどもお寄せください。今リリースに掲載していない結果や属性データもご紹介できます)

株式会社プラネット 広報部(河合、角田^{つのだ})

E-mail : koho-pr@planet-van.co.jp